

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和4年3月1日

事業所名 いるか教室つしだ

保護者数(配布数) 38(30) 回収数20 割合79%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20				・子供の人数に対して十分だと思う。		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19			1	・細やかな対応をして頂いている。 ・関わり方、言葉かけ等、毎回勉強になる。		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19				1	・子供が取り組みやすく、わかりやすくなっていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20						
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	19	1		1	・子供の思いを尊重して進めてもらっている。		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18				2		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19				1		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	20						
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	5	3		7	・コロナの影響か？機会はなかったし、希望しない。 ・普段園に通っているので必要性を感じない。	保護者さんのご希望を伺い、感染症の動向を確認しながら対応していきます。
保護	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20						
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	19				1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	16	1			3	・とても参考になっている。	ペアトレとして実施していないが、職員がティーチャーズトレーニングを受けて支援を行っている。学習会の内容に盛り込んでいる。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20					・連絡シートを丁寧に書いて頂き、とても参考にしている。 ・日頃教えてもらっていることが、子供に活かされているように感じる。	

者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19			1	・育児や子どものことで相談できいつも助かっている ・参加した際には声をかけて頂き、様子も教えてもらいとてもありがたい。		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5	2	5		保護者会は組織していない 教室主催の学習会を行っている	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18				2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18				2		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	4			4		掲示板で情報を発信している 自己評価の結果はファイルしたものを教室内に掲示している。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19						
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	5	1	7	・コロナ関連のお知らせ用紙をもらった。	マニュアルをファイルしたものを教室内に掲示している。 全てのグループで訓練を実施していく。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	4	4	9	・手作りの紙芝居で、災害時の避難方法を親子で確認することが出来た。	全てのグループで訓練を実施していく。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1			1	・保育園からの通所が定着してきた。 ・子供は全員の先生、友達が大好き。人的物的環境が素晴らしいからだと思っている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	20					・子どもも私もこのようなところに通所できありがとうございます。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。